

令和7年度 羽中“SONAE” DAY 防災講話

日時 9月1日(月) 9:00~9:45
場所 羽田中学校 体育館
講師 自衛隊東京地方協力本部
大田出張所 犬飼 陽介 様



目的：災害派遣の現場でのお話を聞き、教訓を生かして防災意識を高める

<生徒の感想（1年生）抜粋>



犬飼さんが災害時に実際に活動されたお話を聞きました

- ・防災講話を聞いて、私はライトや缶などを持つことの大切さを知り、自分の身は自分で守るということが分かり、災害が来ても大丈夫なように備えたと思います。
- ・私は正直、防災について何も知らなかったけど、身の周りにあるもので担架が作れることにびっくりしました。担架以外にもあるのか、すごく気になりました。

これからも私は地域の人達とつながり続けたいです。

災害はいつ来るかわからないので、それに備えておくことが大切だということが改めて分かりました。家族と一緒にハザードマップを見て、避難場所や東靴谷の危険な場所などを確認しようと思いました。

災害が起こった時自分で何ができるか日頃から考えて、災害が起こっても冷静に対処ができるようになりたいです。

・あんなに少ない材料でしっかりとした担架が作れることに驚きました。担架の作り方を思い出して人を助けることができるようになりたいです。

・私は実際に自衛隊の方のお話を聞いて、いざという時に助けてもらえるのはとてもありがたいことだと思いました。ですが、自衛隊に全頼りするのではなく、自分の身は自分で守る事が大切だと思ったので、普段から缶やライトを持ち歩くという事を心がけます。

・自分の命は自分で守ることが大切だということを改めて学びました。

・あらかじめ非常食を用意しておくこと、ハザードマップに目を通しておく事など色々なことができると思ったので、これから自分もそうしたいです。

・犬飼さんの話で「自然には勝てない」と聞いて、いつ災害が来てもおかしくないもので、準備をしなければと思いました。

・大きいタオルとさすまた2本で人を救えることができるんだと思いました。

僕も助けを求めている人を助けていきたいです。



さすまた2本と毛布での担架作りを学びました

自衛隊の方から災害派遣の活動のお話を伺いました。

自然災害を防ぐことは難しいので、備えておくこと、地域での訓練や行事に参加してつながりを作ることが大事だと学びました。

また、さすまた2本と毛布での担架作りを体験しました。

自助そして地域の中で共助ができる羽中生に期待します。



生徒会からのお礼の言葉